

株式会社 P L A N T

(東証スタンダード：7646)

2025年9月期 第3四半期決算概要

2025年7月25日



➤ 減収減益

- 消費者の節約意識や価格競争が高まる中、客数回復を目指した価格強化や、積極的な商品製造・売場展開に伴いロスが増加した結果、売上総利益・売上総利益率が前年同期を下回り、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに前期を下回った
- 既存店売上高は前年同期差+795百万円(+1.1%)も、前期に1店舗を閉店した影響があり、全社売上高は前年同期差▲920百万円(▲1.3%)
- 第3四半期単独では売上総利益率が前年同期から0.28P改善し、営業利益は+77百万円

➤ ガソリン売上高が大幅伸長

- 集客力のあるガソリンの価格強化を行ない、売上高・売上総利益に貢献も、売上高構成比の上昇により売上総利益率の低下の一因に
※ガソリンの売上総利益率は、ガソリン以外と比べ低率

(単位：百万円)	2024年9月期 第3四半期累計	2025年9月期 第3四半期累計	前期比増減額 (増減率)	2025年9月期 通期業績予想	進捗率
売上高	73,238	72,317	▲920 (▲1.3%)	97,465	74.2%
売上総利益	16,937	16,529	▲408 (▲2.4%)	—	—
売上総利益率	23.13%	22.86%	▲0.27P	—	—
販売費及び 一般管理費	15,205	14,971	▲233 (▲1.5%)	—	—
営業利益	1,732	1,557	▲174 (▲10.1%)	1,800	86.5%
営業利益率	2.37%	2.15%	▲0.21P	1.85%	—
EBITDA (営業利益+減価償却費)	2,783	2,521	▲262 (▲9.4%)	—	—
経常利益	1,829	1,656	▲172 (▲9.4%)	1,900	87.2%
四半期純利益	1,263	1,173	▲90 (▲7.1%)	1,350	86.9%

※単位未満 切り捨てにて表示

(単位：百万円)	2024年9月期 第3四半期累計	2025年9月期 第3四半期累計	前期比増減額 (増減率)	【既存店】 前期比増減額 (増減率)
フーズ	49,549	48,218	▲1,330 (▲2.7%)	▲191 (▲0.4%)
雑貨	18,282	17,300	▲981 (▲5.4%)	▲411 (▲2.3%)
ガソリン・灯油	5,095	6,489	+1,393 (+27.3%)	+1,393 (+27.3%)
不動産賃貸料収入	310	309	▲1 (▲0.4%)	+5 (+1.9%)
合計	73,238	72,317	▲920 (▲1.3%)	+795 (+1.1%)

➤ ポイント

- 価値ある商品開発を強化している
惣菜・ベーカリーなどの売上は伸長
- 3Qの気温が上がり切らず雑貨夏物
季節品の動きが鈍い
- 前期の能登半島地震での防災用品
需要の反動減あり
- ガソリンスタンドは価格強化によ
る利用客数増に加え、2024年8月9
日に新設した志摩店ガソリンスタンド
が寄与

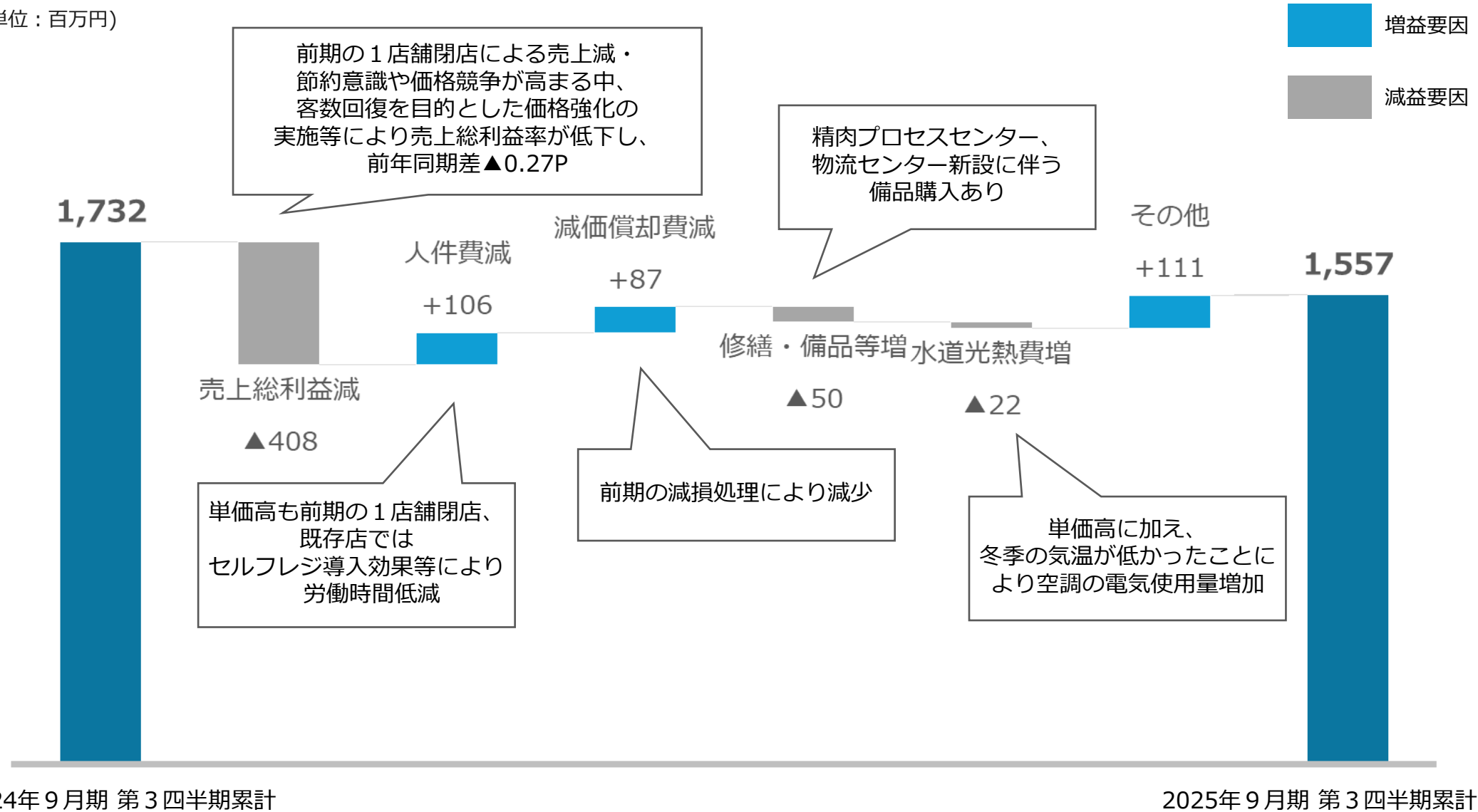
(単位：百万円)	2024年9月期 第3四半期累計	2025年9月期 第3四半期累計	前期比増減額 (増減率)	【既存店】 前期比増減額 (増減率)
人件費	9,313	9,206	▲106 (▲1.1%)	+121 (+1.3%)
減価償却費	1,051	963	▲87 (▲8.3%)	▲87 (▲8.3%)
修繕・備品等	1,021	1,071	+50 (+4.9%)	+69 (+6.9%)
水道光熱費	1,120	1,142	+22 (+2.0%)	+73 (+6.8%)
その他	2,698	2,586	▲111 (▲4.1%)	▲3 (▲0.1%)
合計	15,205	14,971	▲233 (▲1.5%)	+173 (+1.2%)

➤ ポイント

- セルフレジ導入・増台効果等により労働時間は低減
- 減価償却費は前期の減損処理により減少
- 精肉プロセスセンター(R-9 CENTER)、物流センター(北陸ドライ配送センター)新設に伴う備品購入あり
- 電気の単価アップに加え、冬季の気温が低かったことにより電力使用量が増え電気料金が増加

営業利益増減要因

(単位：百万円)



2024年9月期 第3四半期累計

2025年9月期 第3四半期累計

四半期別損益状況

(単位：百万円)	第1四半期			第2四半期			第3四半期		
	2024年 9月期	2025年 9月期	前年 同期差	2024年 9月期	2025年 9月期	前年 同期差	2024年 9月期	2025年 9月期	前年 同期差
売上高	23,948	23,559	▲389	25,008	24,706	▲301	24,281	24,052	▲229
売上総利益	5,551	5,330	▲221	5,817	5,615	▲202	5,568	5,583	+15
売上総利益率	23.18%	22.63%	▲0.56P	23.26%	22.73%	▲0.53P	22.93%	23.21%	+0.28P
販管費	4,996	4,894	▲101	5,140	5,070	▲69	5,067	5,005	▲62
人件費	3,069	2,974	▲95	3,143	3,138	▲5	3,100	3,093	▲6
販売費	844	915	+70	901	938	+36	851	869	+17
うち水道光熱費	369	388	+19	388	399	+11	362	354	▲8
管理費	1,082	1,004	▲77	1,095	993	▲101	1,116	1,042	▲73
営業利益	555	435	▲119	676	544	▲132	500	577	+77
営業利益率	2.32%	1.85%	▲0.47P	2.71%	2.20%	▲0.50P	2.06%	2.40%	+0.34P
EBITDA (営業利益+減価償却費)	906	749	▲156	1,030	870	▲159	846	900	+54

(単位：百万円)	2024年9月期末	2025年9月期 第3四半期末	増減
流動資産合計	17,385	14,984	▲2,401
うち 現金及び預金	5,617	2,895	▲2,722
うち 商品	8,878	9,305	+426
固定資産合計	21,000	21,183	+183
資産合計	38,385	36,167	▲2,218
流動負債	13,688	11,262	▲2,426
固定負債	10,308	9,760	▲548
負債合計	23,997	21,023	▲2,974
うち 有利子負債 (長期借入金・リース債務)	6,804	6,458	▲346
純資産合計	14,388	15,144	+756
うち 自己株式	▲1,301	▲1,301	—
負債純資産合計	38,385	36,167	▲2,218
自己資本比率	37.5%	41.9%	+4.4P

➤ 増減要因・ポイント

● 2023年9月期に取得した既存店舗の土地購入代金の支払い等の設備投資への支出により現預金が減少(流動負債も減少)

● 金融機関2行との間でコミットメントライン契約(合計20億円)を締結しており、コミットメントベースではない借入枠と併せ、流動性リスクの軽減を図っている



本資料は、投資家の皆様に当社についての理解を深めていただくことを目的として作られたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料中の業績予想等に関する記述につきましては、確約や保障を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績は、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

実際の業績等は、経営環境の変動、不可抗力等によって大きく異なる可能性がございますのでご注意ください。